

地元関係者とのコミュニケーションについて

工 事 名 上沼道 岡木跨道橋下部その2工事
 工 事 場 所 上越市三和区岡木地先
 会 社 名 相村建設株式会社
 発 表 者 篠原 淳也

1. はじめに

本工事は上越地方と魚沼地方とを結ぶ「上越魚沼地域振興快速道路」の一部を構成する上越三和道路事業であり、岡木跨道橋のP3橋脚を施工する工事である。

施工時期が農繁期と重なる上、工事車両は地元関係者の多くが利用する市道を走行する等地元町内会の理解と協力が不可欠な工事であった。

2. 概 要

地元町内会と良好な関係を保ち、工事をスムーズに進捗させるため関連工事3社で協力し下記の取組みを行った。

3. 方 法

1) 岡木ふれあいセンター(地元公民館) 敷地内の整備

- 以前より地元要望のあった、岡木ふれあいセンター敷地内のアスファルト舗装を行い町内会より感謝状を授与された。

写-1 建物脇のアスファルト舗装



写-2 感謝状の授与



2) デジタルサイネージによる工事説明

- 地元関係者の多くが利用する市道(下中岡木線)沿いにデジタルサイネージを設置し工事情報の提供を行った。

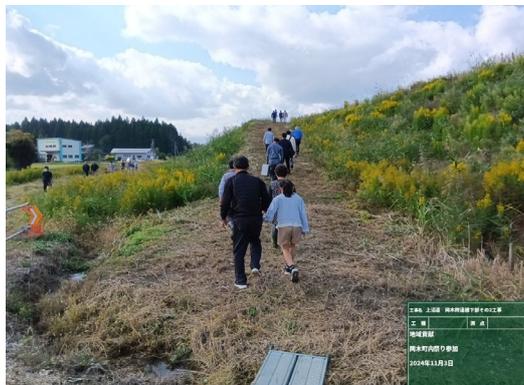
写-3 デジタルサイネージによる工事情報の提供



3) 町内会秋祭りへの参加協力

■町内会主催の秋祭りに参加し、餅つき・食事等を共にした後、施工が完了している盛土に登り現在の上沼道を眺めながらドローンによる空撮を行う等、地元関係者とのコミュニケーションを図った。

写-4 盛土の上にて進捗状況等の説明



写-5 ドローンによる撮影



写-6 餅つき参加



4. 結果

地元関係者と良好な関係を築くことで、スムーズに工事の進捗を図る事ができた。

5. 考察・まとめ

今回、秋祭りに参加し地元の方と接してみたが、自分たちが思ってる以上に工事に関心を持っている事がわかった。このような関りが工事を進めていく上で大事な事だと実感できた良い機会となった。

6. あとがき

今後も地元関係者との密に連携をとりながら良質な工事の施工に努めていきたいと考える。